AGC

ビューライト
View Lite もくまど®

ご使用のしおり

販売会社・“いいまどショップ ビューライト”

※上記は必ず販売会社“いいまどショップ ビューライト”に記入して頂いてください。

旭硝子株式会社 AGC板ガラスカンパニー

（製造・販売元） **AGCグラスプロダクツ株式会社**
(AGC グラスプロダクツ株式会社は旭硝子株式会社の建築用加工ガラス部門を2007年5月に分社した会社です。)

（お問い合わせ窓口）
カスタマーセンター 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18 TDCビル
お問い合わせナビダイヤル 0570-001-555 電話03-6238-4555
［受付時間］9時～12時・13時～17時(土・日・祝日はお休み)
旭硝子の機能で選ぶ窓システム View Lite 《ビューライト》ホームページ URL http://www.viewlite.jp/
《ビューライトもくまど》ホームページ URL http://www.viewlite.jp/MOKUMADO/
板ガラスカンパニーホームページ URL http://www.asahiglassplaza.net/

44040-002940 2007.05VI

製品をご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、“ビューライト もくまど” をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「ご使用のしおり」は、もくまどを安全に正しくご利用いただくための、注意事項、お手入れ方法・再塗装の手順などについて説明したものです。
ご利用の前に、必ずお読みください。
また、いつでも読めるように保管してください。

INDEX

■木の話…… 1
■木のちょっと手間をかける話…… 2
■安全にご使用いただくために
　ご使用上の注意/お願い…… 4
■末永くご使用いただくために
　日常のお手入れ方法…… 6
　再塗装について…… 7
　ヤニに関するお手入れ…… 9
■取扱いと調整方法
　引き違い窓の取扱い…… 10
　1.クレセントの操作説明…… 10
　2.建付け調整…… 10
　3.はずれ止めの調整…… 11
　4.彫込引手の上下調整…… 11
　5.網戸の戸車とはずれ止めの調整…… 11
　その他の窓の取扱い…… 12
（縦すべり出し窓／横すべり出し窓／開き窓／ テラスドア／勝手口ドア／FIX窓）
　1.ハンドルの操作説明…… 12
　2.スライダーロック受けの調整…… 12
　3.フリクションストッパーの調整…… 12
　4.網戸の脱着方法及び調整…… 13
■住まいと結露/換気…… 14
■商品保証について
　商品保証…… 16
　お問合せ時のお願い…… 17

木の話

木は樹木という生物によって生みだされる材料です。木は光合成でつくりだされた炭水化物から成っています。
その構造は精緻にして単純でありながら、外部からの攻撃にはかなり強い生物なのです。
確かに木は便利で強い材料にちがいありません。それでも、時には木も腐ることがあります。それは微生物の仕業で、木の内部の隙間がほとんど水分で満たされ、空気不足の状態で置かれた場合に発生するといわれます。木が腐るのを防ぐには、水分のコントロールと空気の流通（呼吸）は不可欠のようです。
炭水化物だから「燃える」「腐る」、生物材だから「不揃い」という欠点を除けば、木は材料として、ほぼ合格点の評価になるでしょう。
それにも増して、木には捨てがたい良さ、人がその肌で実感する親しみや風合い、気持ちに伝わる “何か” があるのです。
木は人に生きるリズムを、悠々の時の流れを教えているのかもしれません。

木のちょっと手間をかける話

●手間はかかります《塗装について》

外部に使われる木材にはさまざまなストレスがかかります。紫外線や風雨、腐朽菌などが木肌にあたり、木材の劣化をすすめます。

このため、「木材保護塗料」で木材を守ってあげる必要があるのです。《もくまど》では水性の木材保護着色塗料を採用することで、木材の呼吸を妨げることなく、木の劣化を防いでいます。水性で、かつ人体に有害なVOC(揮発性有機化合物)を発生する成分は含んでいません。人と環境にやさしい安心塗料です。

耐久性に優れた、木材保護塗料を使用していますが、実際の住宅では、季候や立地、庇の有無などの条件によって変退色の進行度合いが異なります。初期の色からの変化に応じて、はやめはやめの再塗装をお奨めします。

●曲がり・反りは起こります

木材は水分を吸収したり、乾燥するにつれて伸縮しますが、よく乾燥したあとは、あまり曲がったり、反ったりしません。《もくまど》に使用する木材は、原木の段階で人工乾燥をします。木は含水率を調整することで、曲がり・反りを起こしにくくすることができます。そして、十分な乾燥の後に切削加工の工程に入ります。

さらに、高度な集成を行うことにより、高い意匠性と、強さをかねそなえた「集成材」となるのです。

この集成材を使用することにより、《もくまど》では曲がり、反りを低減しているのです。

フィンガージョイント

均質の長尺部材はコストも高く、また材料の無駄遣いになってしまうことがあります。フィンガージョイントは材料の有効利用を考えた接合方法です。

●割れは入ります

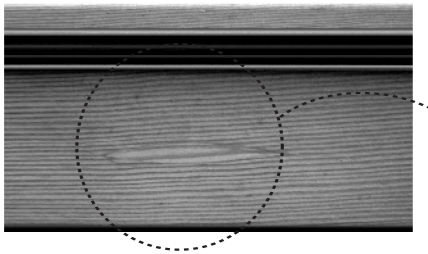
確かに、人工乾燥された木材は含水率が均質化されますので、寸法変化などは基本的に起こしにくくなっています。サッシ断面の形状も小さな突起やシャープなエッジがないように、意匠面からもできるだけ割れが入りにくい設計になっています。

それでも、木目の入り方や位置、わずかな湿気の吸収、放出による寸法変化によって、割れが入ることがあります。これらの現象は窓としての諸性能への影響はありません。ただ、木という生きた自然素材を採用しているために引き起こされる“現象のひとつ”なのです。

●「ムラ」はできます

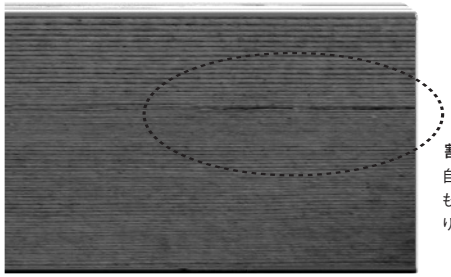
木は生きた素材です。人それぞれが違うように、木の材質にも個性があり、いろいろな質をもっています。《もくまど》は切削加工された木部材を、塗料の塗布によって仕上げます。この工程は自然の不思議工程です。というのは、ここでの仕上がり状態(色の濃さ、色調)は、それぞれ同じ材質の木部材にもかかわらず、成長の場所の違いで少しずつ変化があるのです。

基本的に木材の色が違っていることも理由のひとつなのですが、木目の粗密による塗料の浸透具合の違いも大きな要因になっています。



象眼(ぞうがん)

木の節の部分やちょっとしたキズ、凹みには、別の木を埋め込みます。材料の有効利用を考えた技術です。



割れ

自然素材ですから、割れが入ることもあります。諸機能に影響がない限りは大丈夫です。

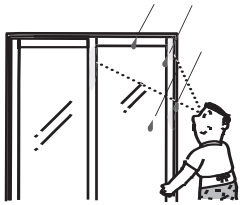
安全にご使用いただくために

注意表示について ここでは、製品の取扱いを誤って生じる危害や事故や怪我を未然に防止するために、次のようなアイコンで表示します。

⚠ 注 意	取り扱いを誤ると使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。
お願い ❗	「しなければならないこと」を意味しています。
お願い ⃠	「してはいけないこと」を意味しています。

⚠ 注 意

⚠ 必ず、定期的に再塗装を実施してください。

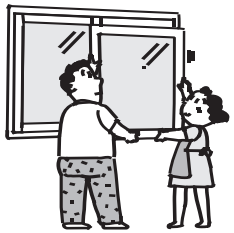


■《もくまど》は、天然素材を使用している為、木部塗装の劣化に応じて、定期的な再塗装が必要となる商品です。定期的な再塗装が適正に行われない場合、美観を損われるばかりではなく、木材の劣化・腐朽が進み、最悪の場合、窓の破損・脱落を生じるおそれがあります。
また、無塗装品は必ず現場塗装を実施して頂く仕様です。無塗装状態のまま使用した場合、木材の急速な劣化・腐朽が進み、最悪の場合、窓の破損・脱落を生じるおそれがありますので、必ず、なるべく早期に屋外用木材保護着色塗料（防腐効果のある）で塗装を実施してください。

メンテナンスの不備、再塗装の不備に起因する不具合及びそれに起因する事故や怪我については、当社は一切の責任を負いかねます。

⚠ ガラス障子は脱着しないでください。事情により、引き違い窓のガラス障子を脱着する場合には、2人以上で作業をしてください。
また、作業台などを使うときは足場をしっかり確保してください。
障子をはめ直したときは、必ずはずれ止めを調整してください。

■ガラスは複層ガラスを使用しております。重量が重いので落としたりすると事故や怪我につながることがあります。

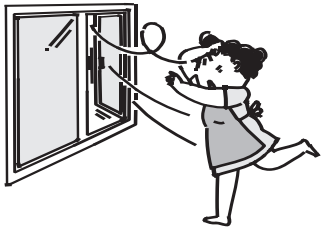


⚠ ガラス障子や網戸に寄りかからないでください。

■障子が外れたり、ガラスが割れたり、網戸が外れたりして事故や怪我につながることがあります。

⚠ 風の強い時は窓を閉めて、必ず錠を閉めてください。

■突風などでガラス障子が勢いよく開閉した場合、破損や脱落を起こして事故や怪我につながることがあります。



⚠ ガラス障子やハンドルに、ぶらさがらないでください。

■重さによって破損や脱落したりして事故や怪我につながることがあります。

⚠ 分解や加工はしないでください。

■調整ネジ以外は触れないでください。
特に引き違い窓のガラス障子は、組み立てねじの締付け強さを管理しています。誤って組み立てられた場合、開閉に支障をきたすばかりではなく、（接合部の破損などにより）事故や怪我につながることがあります。

⚠ 窓に不具合が生じた場合は、お取り扱いの施工店・工務店販売店又は当社カスタマーセンターにご相談ください。

■そのままご使用を続けた場合、事故や怪我につながる恐れがあります。

お願い

❗ ガラス障子の開閉は静かに行ってください。

■ガラス障子がこわれたり、脱落して事故や怪我につながることがあります。

⃠ ガラス障子をしめるとき、指などをガラス障子と枠の隙間に置かないでください。

■指などをはさんで、怪我をすることがあります。

⃠ ドア等のハンドル部（ガラス繊維入り樹脂）には塩素系洗剤を使用しないでください。

■変色（白化）してくることがあります。

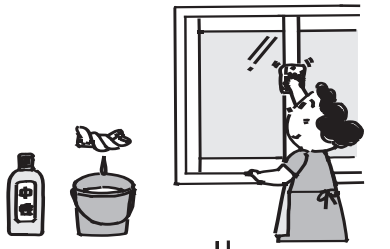
末永くご使用いただくために

日常のお手入れ方法

この製品は、十分に乾燥された木材と、アルミニウム押出し材・樹脂部材が使われています。
これらの材料は、煤煙や砂・泥などが付着したまま放置しておきますと、変色や腐蝕・木部塗装の劣化の進行を起こすことがあります。いつまでも美しくお使いいただくために、定期的なお手入れと再塗装をお願いいたします。

1 **月に1～2回程度、乾いた布などで拭き掃除をしてください。**

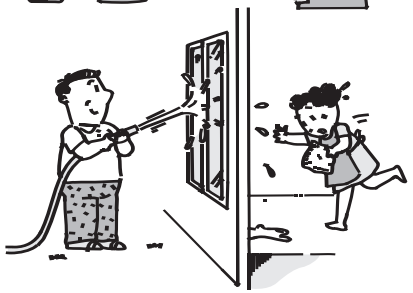
2 **年に1～2回程度、ほこりを落としたあと強く絞った布で拭き、汚れを落としてください。**
水洗いできるところは、柔らかい布やスポンジに水を含ませ汚れを洗い落としてください。そのあと、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾かしてください。



■枠のアルミ部や樹脂部の落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄め(1～2%水溶液)て洗いおとし、十分に水洗いしてください。

■特に汚れのひどい工業地帯や海岸地帯では適宜回数を増やしてください。

■雨に対する防水性能(JISでW－3等級)をクリアしていますが、ホースなどで勢いよく水をかけると室内に水が入ることがありますのでご注意ください。直接水をかけるときは、噴霧状態にして放水するようお願いします。



3 **木部塗装の劣化の進行具合に応じて再塗装してください。**

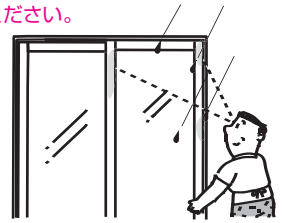
■再塗装の目安は、初期の状態からの褪色の進み具合や撥水性の低下で判断してください。再塗装については次項「再塗装について」を参照ください。

再塗装について

⚠ **必ず、定期的に再塗装を実施してください。**

■《もくまど》は、天然素材を使用している為、木部塗装の劣化に応じて、定期的な再塗装が必要となる商品です。定期的な再塗装が適正に行われない場合、美観を損われるばかりではなく、木材の劣化・腐朽が進み、最悪の場合、窓の破損・脱落を生じるおそれがあります。
また、無塗装品は必ず現場塗装を実施して頂く仕様です。無塗装状態のまま使用した場合、木材の急速な劣化・腐朽が進み、最悪の場合、窓の破損・脱落を生じるおそれがありますので、必ず、なるべく早期に屋外用木材保護着色塗料（防腐効果のある）で塗装を実施してください。

メンテナンスの不備、再塗装の不備に起因する不具合及びそれに起因する事故や怪我については、当社は一切の責任を負いかねます。



再塗装の目安

●塗装の劣化は徐々に進行し、地域や取付け面等によって進行の程度は異なりますので、初期の状態からの褪色の進み具合や撥水性の低下によりご判断ください。

もくまど	メープル色	約3年
もくまどFc	各色	約5年
もくまど	無塗装品	現場での塗装による

上記は保証値ではありません。
木材保護の為にも劣化が著しくなる前に塗装を行ってください。

●再塗装は、専門の塗装業者に依頼されることをお薦めします。

再塗装の際に用意するもの

※基本的にホームセンターや塗装店でご購入になれます。

1.塗料
必ず屋外用木材保護着色塗料（防腐効果のある）をご使用ください。弊社〈もくまどFc〉の場合、弊社「もくまど専用水系フッ素塗料」を推奨いたします。

2.刷毛
油性塗料にはニス刷毛、水性塗料には水性用刷毛をお薦めします。

3.ペイントうすめ液
用具洗い用です。（油性塗料の場合必要になります。）

4.プラスチック容器
作業時の塗料入れ及び用具洗い用の容器です。

5.新聞紙・ウエス等
窓の周囲を汚さない為に、汚れると問題の場所の保護に使います。
適宜、ビニールシート等を用いてください。

6.マスキングテープ
5の固定用のテープです。

7.ブラシ
汚れがひどい場合、汚れをおとすのに使います。
スチールウールやサンドペーパーでも可能です。

再塗装のためのご注意

ガラス障子の脱着はしないでください。

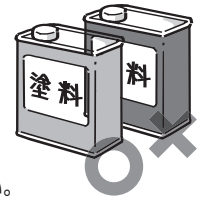
ガラス障子は絶対に脱着しないでください。
事情により引違い窓のガラス障子を脱着せざるを得ない場合は、必ず2人以上で作業してください。また、作業台等を使う時は足場をしっかり確保してください。

ガラス障子に負担をかけないでください。

絶対にガラスに寄りかかったり、ガラス障子にぶら下がったり、ものを立てかけないでください。
障子が外れたり、ガラスが割れたりして、事故や怪我につながることがあります。

もくまど(障子側面を含む)の塗装には、必ず屋外用木材保護着色塗料(防腐効果のある)をご使用ください。

必ず屋外(外装)用の塗料をご使用ください。屋外用の塗料以外をご使用になりますと、雨や紫外線による木部の劣化を防ぐことができません。



周囲・足場の確保をしてください。

再塗装を行うにあたっては、作業に支障がない様に周囲に必要なものだけを置き、まず、足場をきちんと確保してください。
また、無理な体勢をとらず、適宜、踏み台や梯子を用いて安全な体勢で作業を行ってください。2階の外部等は足場の確保が困難なため、ご自分では行わず必ず塗装業者様に依頼してください。

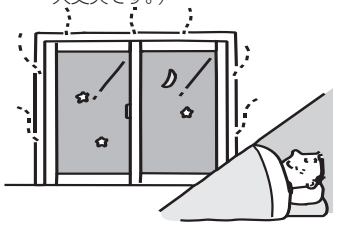
一般的な塗装手順　詳細については　塗装する塗料メーカーの推奨に従ってください。

※塗装は専門の塗装業者様に依頼されることをお薦めします。

1 段　取　周囲が汚れないように、必要な場所は新聞紙とマスキングテープを用いてカバーしてください。
安全に作業する為に、また、塗料による汚れを避ける為に周囲を整理して、必要なものだけを用意してください。

2 前処理　濡れぞうきんやスポンジで拭いて、汚れを落としてください。塗装ムラの出ている場合や汚れの落ちない部分はブラシやサンドペーパーなどで擦って落としてください。

3 乾　燥　汚れを落としたら、約1昼夜放置して乾燥させてください。
（手で触れて乾いた感じがすれば大丈夫です。）



4 塗　装（1回～2回が目安です）

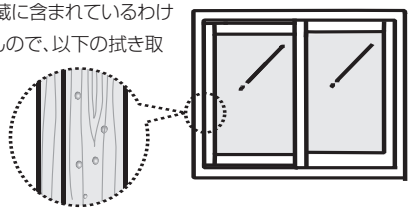
塗装の際は、目立たない部分で支障のないことをご確認の上、塗装をしてください。
また、開閉が出来る窓タイプでは、障子の側面など美観上問題にならない部位でも、雨がかかる部位には塗装をするようにしてください。
塗装回数、塗装手順、乾燥期間など詳細につきましては、塗装する塗料メーカーの推奨に従ってください。

5 後処理　塗装後1日で、触れた感じでは乾燥しているようになりますが、衣類等が触れると、色が移り、汚れる事がありますので、ご注意ください。

ヤニに関するお手入れ

ヤニについて

木材の表面に球状のつぶ(0.5～3mmくらい)が出てくるのが「ヤニ」です。
木材に含まれる樹脂成分で量の多少はありますが、必ず施工後に浸出します。
木材中に無尽蔵に含まれているわけではありませんので、以下の拭き取りを行なって頂ければ改善します。



用意するもの

1.メタノール(CH3OH,約99%)
2.ウエスもしくはタオル等の布
　(拭き取りに使う布です)

※メタノールは薬局で購入する事ができます。
(メタノールのご注意)
・火気厳禁。
・お子様が飲み込まない様注意。

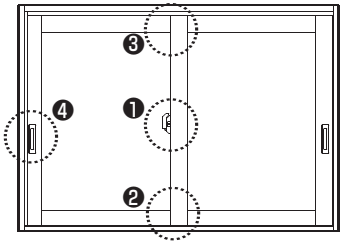
手　順

1 ヤニが出ている箇所にスプレーなどで吹き付けてください。
アルコールの為、木材塗装に干渉する場合が有りますので、吹き付けすぎないようにしてください。

2 アルコールはすぐ揮発してしまいますので、素早く、軽く拭き取ってください。
(塗装済の場合は、塗装の状態をみながら軽く拭き取ってください)

3 ヤニが取りきれていない場合、上記1、2をもう一度行なってください。

取扱いと調整方法



引き違い窓の取扱い

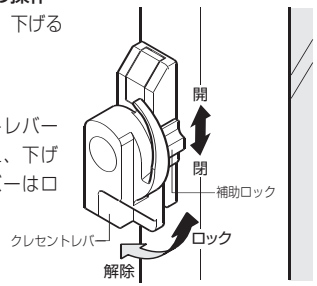
1 クレセントの操作説明

1.クレセントレバーの操作

●上げると障子が開き、下げると障子は閉まります。

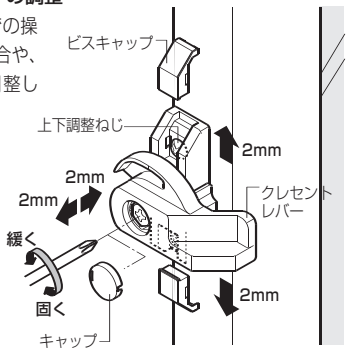
2.補助ロックの操作

●上げるとクレセントレバーのロックが解除され、下げるとクレセントレバーはロックされます。



3.クレセントの調整

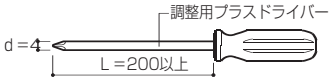
●クレセントでの操作が固い場合や、緩い時に調整します。



2 建付け調整

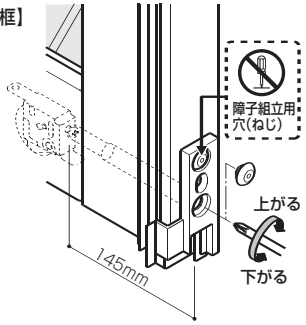
1.戸車の調整

●調整用プラスドライバーはL=200以上の細軸(d=4)タイプを使用してください。

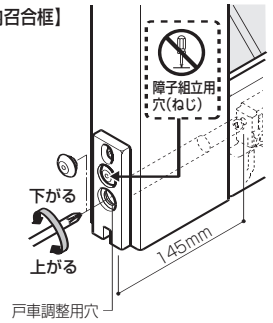


●戸車調整をする時は、障子組立用穴(ねじ)にさわらないでください。

【外召合框】



【内召合框】

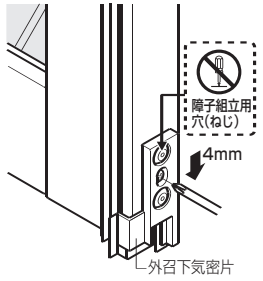


2.気密部品の調整

●戸車を調整した場合は、内召下振れ止めおよび外召下気密片を隙間をなくすため調整します。

●気密部品の位置を調整する時は、障子組立用穴(ねじ)にさわらないでください。

【外召合框】



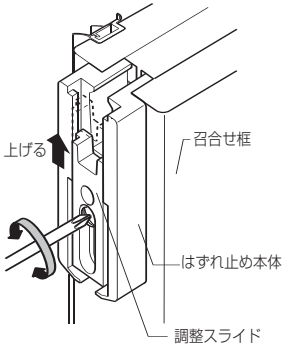
【内召合框】

3 はずれ止めの調整

●障子建て込み後、ドライバー(+)ではずれ止めの小ねじをゆるめます。

●ドライバー(+)の先を利用してはずれ止めを調整します。調整スライドを障子の開閉に支障のない位置まで上げて、小ねじを締め付けます。

●はずれ止めは、内外の召合せ框に1個ずつついています。



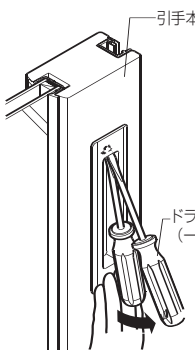
4 彫込引手の上下調整

●ドライバー(−)の先を引手上部の穴に差し込み、上方向へ持ち上げてください。(この時軽く引手本体の下部を手で押さえてください。)(図-1)
1度で引手本体が外れない時は、浮いたすき間に、木を傷つけないよう(布などをまく)ドライバー(−)を差し込み外してください。(図-2)

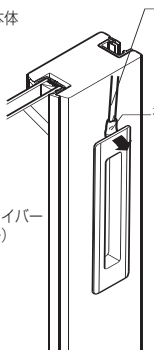
●取付バネを締めつけてあるねじ2本をドライバー(+)でゆるめ、下にスライドさせてください。下に5mmまで調整できます。(図-3)

※調整後はしっかりとねじを締め付けてください。

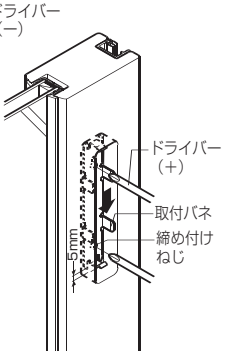
●引手裏面の上方向矢印をご確認の上、本体を取付バネに強く嵌め込んでください。



(図-1)



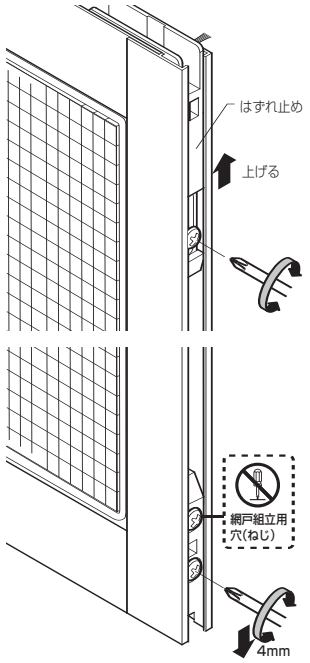
(図-2)

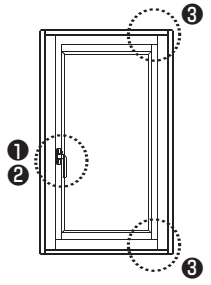


(図-3)

5 網戸の戸車とはずれ止めの調整

●網戸も障子と同様、戸車とはずれ止めを調整してください。





その他の窓の取扱い（縦すべり出し窓／横すべり出し窓／開き窓／テラスドア／勝手口ドア／FIX窓）

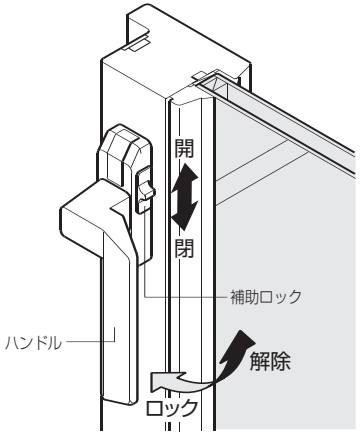
1 ハンドルの操作説明

1.ハンドルの操作

●上げると障子が開き、下げると障子は閉まります。

2.補助ロックの操作

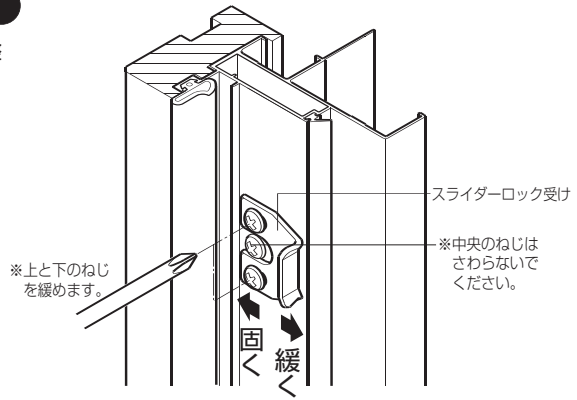
●上げるとハンドルロックが解除され、下げるとハンドルはロックされます。



2 スライダーロック受けの調整

ハンドルの操作が固い場合や、緩い場合に調整します。

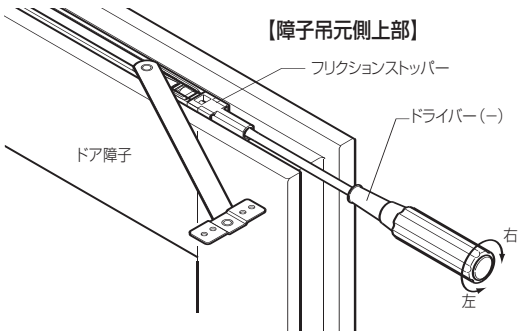
●上下のねじを緩め、スライダーロック受けを動かします。



3 フリクションストッパーの調整

〈開き窓・テラスドア・勝手口ドア〉

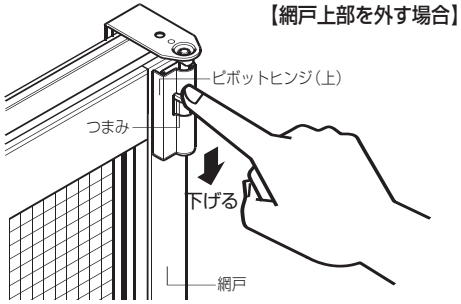
●障子を開閉する力は1.5～2.0kgに初期調整してあります。
障子を開閉する力を調整するときは、障子を全開にし、フリクションストッパーの先端にあるねじをドライバー（−）で回転し調整します。
右に回す：開閉する力が大きくなる
左に回す：開閉する力が小さくなる

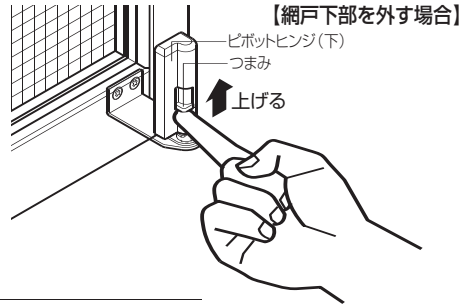


4 網戸の脱着方法及び調整

1.網戸の脱着方法

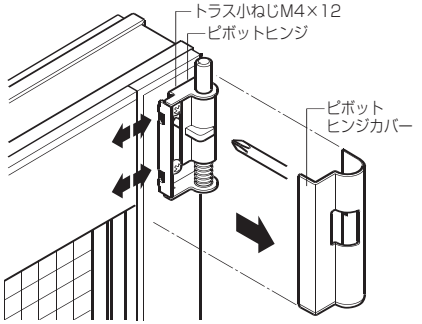
●上部ピボットヒンジつまみを指で下げるか、又は下部ピボットヒンジつまみを指で上げて網戸を外します。





2.網戸の調整

●ピボットヒンジの取付け位置をずらして調整します。



住まいと結露/換気

《もくまど》のある快適な暮らしのために
「住まいと結露」について考えましょう。

快適な暮らしを守るために、《もくまど》は高断熱性、高気密性など、さまざまな高性能を発揮します。それでも、例えば「結露」などの不快現象は発生します。結露は窓枠や窓ガラスを汚すだけでなく、住まいにトラブルを引き起こす大敵でもあるのです。住まいを結露から守るためにも、結露の発生の仕組みを知って、結露を抑える方法やライフスタイルを身に付けましょう。

窓に結露が発生する理由

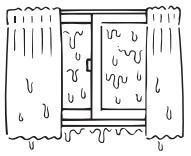
窓の表面温度が露点温度より低い時、窓の表面に結露が発生します。

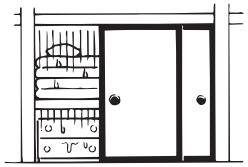
※露点温度：室内の空気に含まれる水蒸気は、温度が一定以下になると結露しはじめます。その時の温度を露点温度といいます。
つまり、
1.室内で水蒸気が発生し、
2.冷たい外気が窓の表面温度をさげ、
3.水蒸気を含んだ室内の空気が窓に触れる時、
結露は発生するわけです。

結露によるトラブル

結露の発生は、快適で健やかな生活への注意信号です!

結露が引き起こす住まいのトラブルを段階的に分類すると、**第１段階**では、タンスの裏側がジメジメしたり、窓やカーテンが濡れていたり、押し入れがジメジメしはじめます。





これを放置すると、カビが発生、その胞子が浮遊したり、ダニが発生する**第2段階**になります。

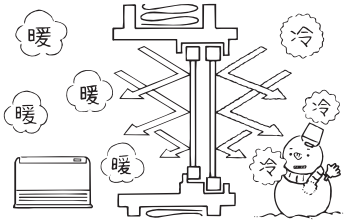
そして、さらに進むと住む人の健康に悪い環境であるばかりか、住まいの環境としても最悪となる**第3段階**になります。

結露を抑えるための４つのポイント

窓辺を露点温度にしないように、サッシだけでなく、住まい全体の断熱化や住まい方、ライフスタイルに十分注意することが必要です。

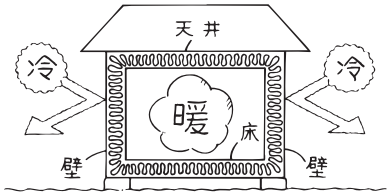
●ポイントその１　《もくまど》の活用

《もくまど》は室外の冷気を室内に伝えにくくします。そして、室内側の窓表面温度の低下を防ぎますので、結露の発生を抑えることができます。



●ポイントその2　住まい全体の断熱化

住まい全体の断熱化を進めて、住まいの保温性を高めます。室内温度の低下を抑える効果があります。



●ポイントその3　換気のすすめ

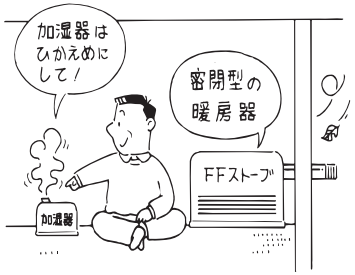
室内の水蒸気を完全になくすことはできません。
室内の余分な水蒸気の排除には
・新築の場合：24時間換気扇の活用
・リフォームの場合：換気扇の使用
をおすすめします。

チェックポイント
・炊事や食事中にでる水蒸気
・睡眠中にからだから発散される水蒸気
・浴室や洗面所からでる水蒸気
・鉢植えからも案外の水蒸気がでています

●ポイントその4　水蒸気の発生源を減らせ！

水蒸気の発生源を暮らしの中で意識的に減らしましょう。習慣やライフスタイルの工夫で結露の発生を抑えましょう。

チェックポイント
・洗濯物は室内に干さない
・お風呂のフタは開けっ放しにしない
・加湿器の使用はなるべく控えたい
・水蒸気の発生しない暖房機器を使おう



商品保証について

旭硝子グループ住宅建材商品は、厳しい管理の下で生産され、厳重な検査に合格したものだけをお手元にお届けしていますが、更に万全を期し、商品保証を実施しています。

下記の商品保証に該当する不具合が発生した場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社カスタマーセンターにご相談ください。なお、《もくまど》は、天然素材を使用している為、木部塗装の劣化に応じて定期的な再塗装が必要となる商品です。定期的な再塗装が適正に行われない場合、美観が損なわれるばかりではなく、木材の劣化・腐朽が進み、最悪の場合、窓の破損・脱落を生じるおそれがあります。

メンテナンスの不備、再塗装の不備に起因する不具合及びそれに起因する事故や怪我については、当社は一切の責任を負いかねます。

商品保証

1. 保証者　AGCグラスプロダクツ株式会社
2. 保証の対象者　住宅の所有者
3. 対象商品　ビューライト もくまど
4. 保証期間　施工者よりの引渡し日（注1、注2）から2年間。ただし、商品からの雨水浸入については10年間とします。尚、個々の商品についての保証書は発行いたしませんので、商品保証をお申し出の際は、上記の引渡し日を特定できる契約書・納品書・領収書等のご提示をお願いします。

   (注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

   (注2)分譲住宅(建売住宅)の場合は、建築主様への引き渡し日とします。
5. 保証内容　取扱説明書、またはその他の注意書に基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

   なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が室内に流れ出たり、あふれ出たりすることです。
6. 免責事項　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

   ①当社の手配によらない第三者の加工上、組立上、施工上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食、現場塗装による不具合など）

   ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合

   ③建物躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

   ④商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗・磨耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質・変色、木製品の反り・ねじれ・割れ・変色・ヤニなど）またはこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

   ⑤自然現象や住環境に起因する結露、腐食又はその他の不具合

   ⑥環境が特に悪い地域または場所での腐食またはその他の不具合

   （例えば、海岸地帯での塩害による腐食。大気中の粉塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の廃棄ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）

   ⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災、津波、噴火など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。および風でのあおりによる破損、脱落

   ⑧施工当時実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合

   ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合

   ⑩引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合

   ⑪お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取り外しを含む）に起因する不具合

   ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

   ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

   ⑭商品仕様の中で、木部塗装に関わる部分。および弊社「無塗装色」に室外用木材保護着色塗料を塗装せずに使用し続けたことに起因する不具合

   ⑮浴室など室内から水のかかる場所に取り付けられた場合の不具合

   * 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

   * 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店、又は当社にお問い合わせください。

お問合せ時のお願い

旭硝子グループ住宅建材商品は、厳しい管理の下で生産され、厳重な検査に合格したものだけをお手元にお届けしていますが、更に万全を期し、商品保証を実施しています。下記の商品保証に該当する不具合が発生した場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は当社カスタマーセンターにご相談ください。

「もくまど」ホームページ http://www.viewlite.jp/MOKUMADO/

※本「ご使用のしおり」の改訂などはこちらに掲示いたしますのでご参照ください。

「もくまど」には、生産情報を管理するため一本一本すべての窓にシリアルナンバーを表示させていただいております。
お問合せをいただく際には大変お手数ですがシリアルナンバーをご確認の上ご連絡いただきますようお願い申しあげます。
シリアルナンバー（S/N）は室内側から見て窓の右上に貼っている金属板に打刻されています。